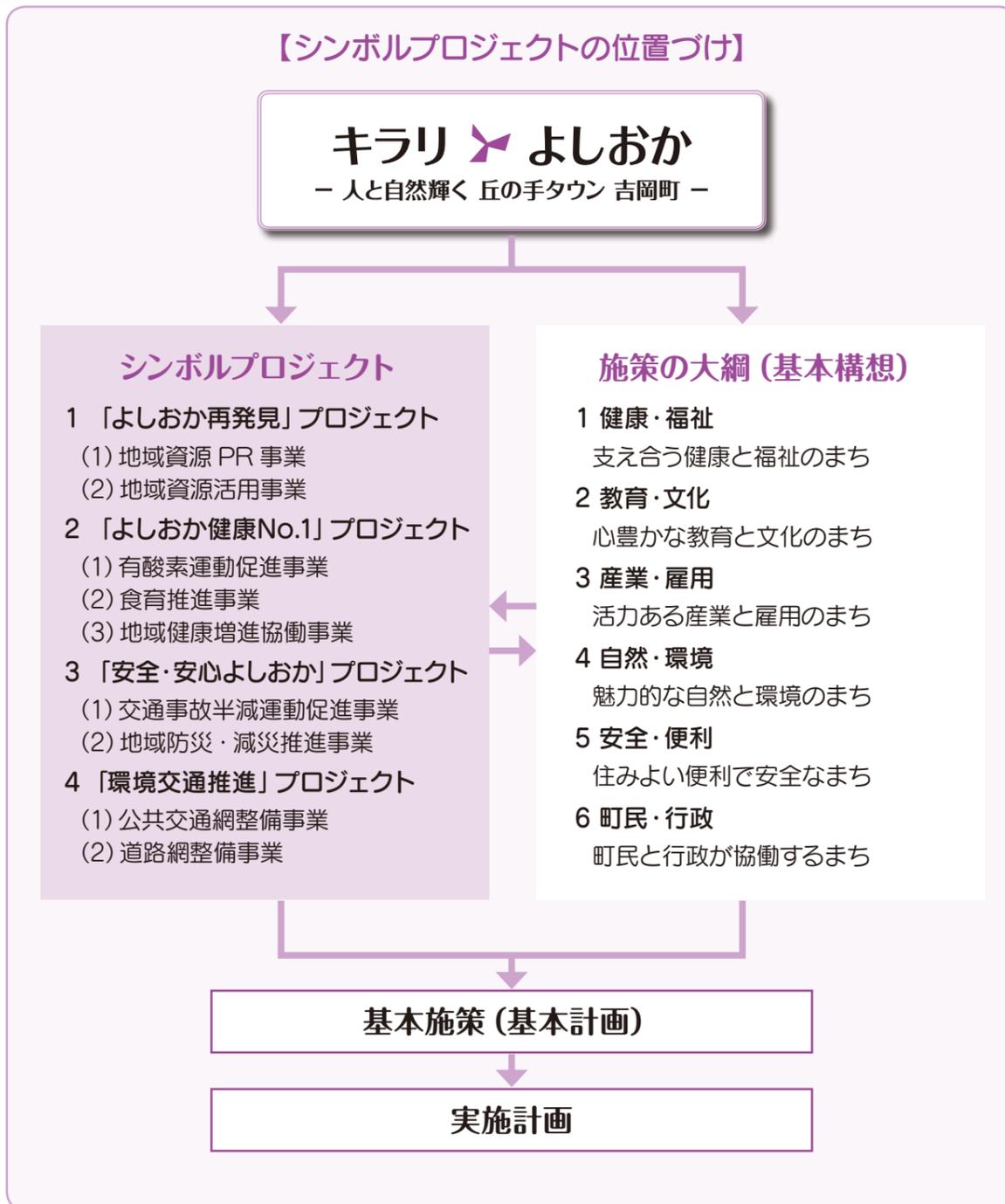


第4章 シンボルプロジェクト

町の将来像「キラリ ✨ よしおか 一人と自然輝く 丘の手タウン」の実現に向け、町民と行政が協働し、「キラリ」と輝く「よしおか再発見」「よしおか健康 No.1」「安全・安心よしおか」「環境交通推進」の4つのシンボルプロジェクトに取り組めます。

行財政改革を推進し、予算と人材の集中を図りながら、この4つの「シンボルプロジェクト」への戦略的な取組みにより、活発な情報発信を行い、人と自然の「キラリ」と輝くまちづくりを進めます。



1 「よしおか再発見」プロジェクト

(1) 背景

県内で2番目の落差72mの船尾滝、天皇陵と考えられる古墳にも採用された全国で珍しい二段築成八角墳の三津屋古墳、南下古墳群、桃井城址、県内初の風力発電と小規模水力発電、太陽光発電施設が集中した吉岡自然エネルギーパーク、吉岡の特産物のぶどうや乾燥芋、郷土料理のおつきりこみなど、町内には、様々な地域資源があります。

これらの地域資源を再認識し、磨きをかけ、吉岡のシンボルとしてアピールし、「キラリ」と輝く文化と観光・産業のまちづくりが求められます。

(2) 目標

吉岡町のシンボルとして、船尾滝、南下古墳群や三津屋古墳、吉岡自然エネルギーパーク、おつきりこみなどをアピールし、町の自然・文化、人の魅力を高めるとともに、伊香保などと連携し、キラリと光る観光のまちを目指します。

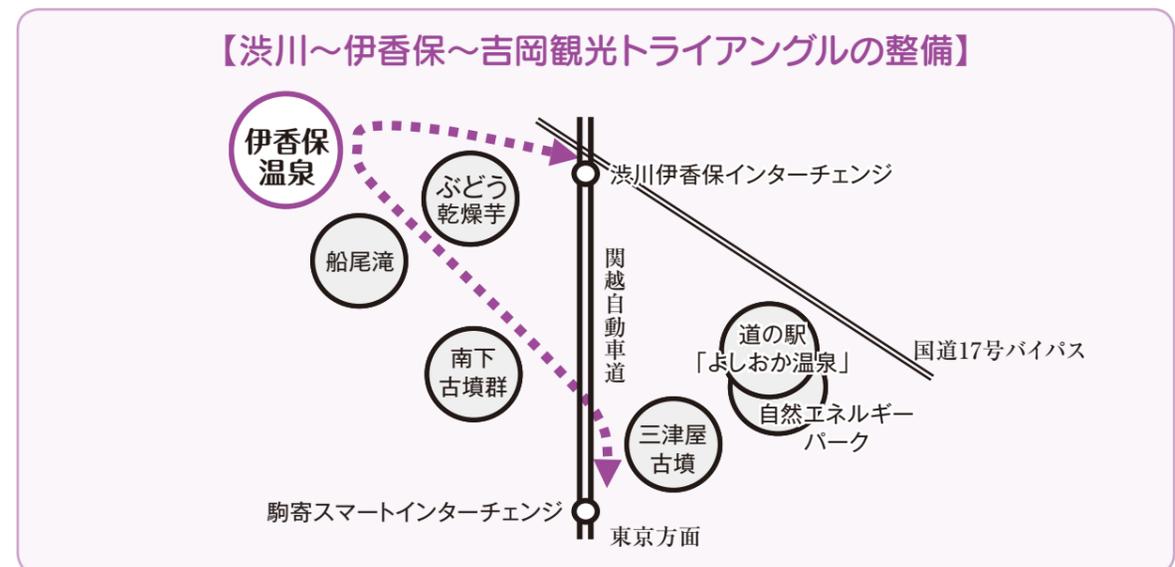
(3) 主な事業

① 地域資源PR事業

- ・ ホームページ、道の駅よしおか温泉などでの情報発信の強化
- ・ 個性的なイベントの開催・企画及び周知

② 地域資源活用事業

- ・ 「船尾滝」の周辺整備と観光活用
- ・ 八角墳「三津屋古墳」や南下古墳群をPRするイベントや特産品開発
- ・ 道の駅よしおか温泉と連携した吉岡自然エネルギーパークの魅力化
- ・ 地域の特産品を活かした新商品の開発
- ・ おつきりこみの名物料理化とイメージづくり、渋川～伊香保～吉岡観光トライアングルの形成



基本構想 第2編

基本構想 第2編

2 「よしか健康No.1」プロジェクト

(1) 背景

本町においても、子どもの時から食生活の乱れ（野菜不足、朝食の欠食、カロリー摂取過剰など）や運動不足が見られるとともに、中高年の生活習慣病や中途障害、要介護が増えてきました。

子どもの時から健康に過ごせるよう、有酸素運動^{*9}や食育、心の健康づくりを進める、心身が「キラリ」と輝くまちづくりが課題です。

(2) 目標

町民が中心となり、運動や食などによる健康維持と心の安定を目的とした活動を行い、全町民がいきいきとした生活をおくり、社会保障制度（健康保険・介護保険）の安定に繋がる健康ナンバーワンのまちを目指します。

(3) 主な事業

① 有酸素運動促進事業

- ・健康ウォーキングのまちづくり（ウォーキングマップ作成、イベントなど）
- ・健康サイクリングのまちづくり（自転車通勤・通学、サイクリングイベントなど）
- ・温泉健康のまちづくり（温泉健康指導など）
- ・健康体操のまちづくり

② 食育推進事業

- ・食育推進計画の策定
- ・「毎日野菜 350g 運動」の推進（市民農園や子ども農園整備、家庭菜園運動、地産地消の取組みとの連携）
- ・「朝ごはん運動」の推進

③ 地域健康増進協働事業

- ・地域ごとの高齢者サロン活動の推進（健康づくりと認知症予防・介護予防）

【有酸素運動・健康増進・食育のまちづくり】



*9 有酸素運動：身体にある程度以上の負荷をかけながら、ある程度長い間継続して行う運動。体内の糖代謝、脂肪代謝を改善するので生活習慣病の予防、治療に効果的。

3 「安全・安心よしか」プロジェクト

(1) 背景

本県では人口 10 万人あたりの交通事故件数が全国平均よりも非常に多く、また少子・高齢化が進む中で、高齢者の事故が増えている現状にあります。子どもや高齢者はもちろんのこと、町民を守るためにも交通安全対策の充実が強く求められています。

さらに、群馬県では地震による大規模な被害は見られないものの、埼玉県の新谷断層が旧榛名町まで伸びていることが確認されています。また、異常気象による集中豪雨などの被害が全国各地で相次いでおり、県内においても発生しています。

安全な交通環境整備への重点的な取り組み、地域防災体制の充実が課題です。

(2) 目標

町民が安心して暮らせるよう、交通事故・自然災害などの発生前の対応を心がけます。交通事故や災害などの発生時には、被害を最小限に抑えることにより、町民が安心安全な生活をおくれることを目指します。

(3) 主な事業

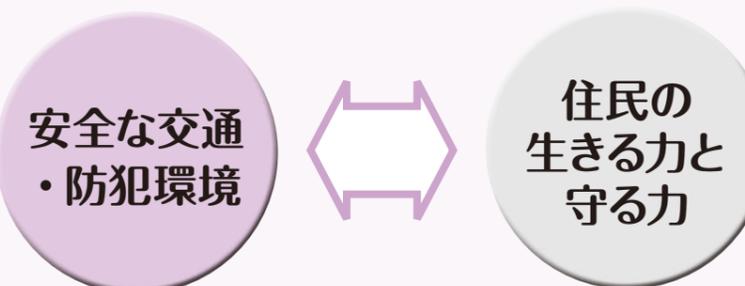
① 交通事故半減運動促進事業

- ・交通事故危険箇所の点検と歩道・交通安全施設の整備
- ・子どもや高齢者への交通安全の徹底

② 地域防災・減災推進事業

- ・自治会の地域防災体制の支援
- ・防災マップ、防災マニュアルなどの周知・徹底
- ・自助意識の促進
- ・災害発生時にそなえた減災方法の検討

【安全な交通・防災のまちづくり】



4 「環境交通推進」プロジェクト

(1) 背景

本町では幹線道路の開通により、通勤・通学の利便性が向上し、人口の増加が顕著です。しかし、今後は国全体における総人口の減少や少子・高齢化社会の進展により、人口の伸びが鈍化するとともに、環境や安全、健康に配慮した交通社会の形成が課題となります。

「キラリ」と輝く、住みたくなる町を目指し、環境にやさしく、安全で便利な道路網や公共交通網の整備・充実を図ることが課題です。

(2) 目標

通学・通勤者や高齢者の交通利便性向上を図るとともに、環境交通社会の実現、魅力ある住宅地の開発、地域産業の活性化に向けて、交通網の整備を目指します。公共交通網と道路網、歩行者・自転車交通が相互に連携のとれた、快適で環境にやさしい、便利なまちを目指します。

(3) 主な事業

① 公共交通網整備事業

- ・ JR 上越線新駅設置構想（住民ニーズの把握、投資効果の検証など）
- ・ 路線バスの検討（利用しやすい路線の検討、運行形態の見直しなど）
- ・ パーク＆ライド、サイクル＆ライドなどの検討

② 道路網整備事業

- ・ 駒寄スマートインターチェンジの大型化
- ・ 道路網の利便性向上（幹線道路を結ぶ町道の整備、交差点の改良工事等）
- ・ 安全・健康・環境に配慮した歩行者、自転車交通体系の整備

【交通網を核としたまちづくり】

公共交通網整備事業

- ・ 新駅設置構想
- ・ 路線バスの検討
- ・ P&R、C&Rの検討

相互利用

道路網整備事業

- ・ 駒寄スマートインターチェンジの大型化
- ・ 道路網の利便性向上
- ・ 歩行者、自転車交通体系の整備

通勤・通学・買物等の便利なまち

環境に優しい環境交通のまち

住みたくなる住宅地づくり

新駅を核に産業が育つまち

第5章 分野別のまちづくり方針(施策の大綱)

町の将来像「キラリ ✨ よしおか 一人と自然輝く 丘の手タウン 吉岡町」の実現に向け、町民と行政が協働し、次の6つの柱でまちづくりを進めます。

【施策の大綱 体系図】

